



奈良県感染症情報

令和2年第40週(9月28日～10月4日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.97	(1.03)	↗	→	↑	↗↗
2	ヘルパンギーナ	0.56	(0.44)	→	→	↗	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	0.32	(0.32)	→	↑	↓	↓
4	突発性発しん	0.29	(0.26)	↘	↘	↘	↓
5	水痘	0.24	(0.15)	↗	↑	→	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↗↗**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

県内において、数週にわたり腸管出血性大腸菌感染症が発生しています。食肉等の汚染食品からの経口感染が主体ですが、糞口感染によりヒトからヒトへも感染します。食品は十分に洗浄・加熱し、特に、生肉又は加熱不十分な食肉の喫食は控えましょう。また、手洗いの徹底等により二次感染を予防してください。

新型コロナウイルス感染症の第40週の県内感染者は、少数ながらも毎日新たに発生しており、警戒を続ける必要があります。

GoToトラベルや、県内の「いまなら。キャンペーン」の実施による経済の活性化対策の一方で、感染拡大も懸念されます。感染リスクを避けた楽しい旅行をするために、観光庁より旅行者の視点でまとめられた“感染防止のための留意点”「新しい旅のエチケット」が作成されています。感染防止対策として注意していただきたい内容について、旅行の各場面(移動、食事、宿泊、観光施設、ショッピング)ごとに掲載されています。ご旅行の前にご確認ください。 <https://goto.jata-net.or.jp/info/2020091001.html>

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

ヘルパンギーナが続いている。水痘は減少してきた。
手足口病はまだ見受けられる。RS、インフルエンザは無い。
胃腸炎は減少してきたが、サルモネラ腸炎があった。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

今週に入って外来数は増加。
発熱、咽頭発赤の例が増加。インフルエンザ様の例はなかった。
ヘルパンギーナが流行との幼稚園はあるが確認した例はなかった。
感染性腸炎も流行あり。血便を伴う例でキャンピロバクター腸炎が1例あった。その他の登録疾患は少ない状況。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

ヘルパンギーナは減少、
アデノウイルス咽頭炎やアデノウイルス腸炎が増加してきた。
軽症の呼吸器感染症も増加している。
RSV、インフルエンザ、マイコプラズマの陽性例はまだない。
COVID-19の成人例は散発しているが、小児例はない。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 40 週 9 月 28 日 ~ 4 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	6 (0.18)		1 (0.11)	2 (0.29)	2 (0.33)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	11 (0.32)		9 (1.00)	1 (0.14)	1 (0.17)			
感染性胃腸炎	67 (1.97)	12 (1.33)	11 (1.22)	18 (2.57)	22 (3.67)	2 (2.00)	2 (1.00)	
水痘	8 (0.24)	4 (0.44)	2 (0.22)		2 (0.33)			
手足口病	1 (0.03)				1 (0.17)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	10 (0.29)	4 (0.44)		5 (0.71)	1 (0.17)			
ヘルパンギーナ	19 (0.56)	5 (0.56)	3 (0.33)	6 (0.86)	5 (0.83)			
流行性耳下腺炎	3 (0.09)	1 (0.11)	1 (0.11)		1 (0.17)			
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎								
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核(郡山1、中和1、吉野1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症(奈良市3、郡山1)
4類感染症	レジオネラ症(中和1) 日本紅斑熱(郡山1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌感染症(奈良市1) 梅毒(郡山1) 破傷風(郡山1)

❖ 第 40 週のトピックス ❖

◆「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)病原体検査の指針」の公表について
<https://www.mhlw.go.jp/content/000678571.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3009
	女																						2919
RSウイルス感染症	男																						105
	女																						69
咽頭結膜熱	男																						4
	女		2		2									1									2
A群溶連菌咽頭炎	男																						4
	女												1	2									7
感染性胃腸炎	男																						31
	女		3	4	1	3	1			1			2	9	2								36
水痘	男																						4
	女																						4
手足口病	男																						1
	女																						82
伝染性紅斑	男																						158
	女																						119
突発性発しん	男				4																		4
	女			2	4																		6
ヘルパンギーナ	男																						11
	女		1	5	3	2																	8
流行性耳下腺炎	男																						2
	女		1	4	1																		1
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男																						32
	女																						35
細菌性髄膜炎	男																						6
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						15
マイコプラズマ肺炎	男																						14
	女																						1
クラミジア肺炎	男																						2
	女																						7

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

■ R2 ▲ R1 □ H30 〰 過去10年平均

